

# NSCAジャパン 東海地域ディレクターセミナー

## 2017年12月3日(日)

時間	10:00~17:00 (9:30~受付)
会場	東海医療科学専門学校 (愛知県名古屋市中村区名駅南2-7-2)
内容	<p><b>【講義】10:00~12:00</b> 管理栄養士が見たプロ野球の世界(河南)</p> <p>日本で人気のスポーツ、野球。プロ野球選手が、実際にどんな食事ととって、どんなサプリメントを取っているのかを実際例を元にお話しします。また、プロ野球選手を目指すジュニア世代が、食事で今から気を付けておいた方がいい事、実際にプロ野球に入ってきた選手がジュニアの頃に取りっていた食事を参考にしながらお話しさせていただきます。</p> <p>【参考文献】 1) Thomas R.Baechle, Roger W.Earle.NSCA決定版ストレングストレーニング&amp;コンディショニング 第3版.ブックハウスHD.226-261. 2010.</p> <p><b>【講義】13:00~15:00</b> 成長期における運動・スポーツ指導に関する問題(小俣)</p> <p>近年、成長期の子どもやスポーツ選手に対する運動やスポーツ指導関連の団体やチーム、民間スクールやパーソナル指導などが増加し、子ども達がスポーツやフィジカルトレーニングなどに参加できる機会や選択肢が豊富になっている。しかし、社会問題化している子どもの体力・運動能力低下は一向に改善されていない。本来であれば子ども達のスポーツや運動への参加機会が増えることで、これらの問題は解消されるはずである。本テーマでは、成長期の運動・スポーツ指導のバイブル的理論ともなっているゴールデンエイジ理論を軸に成長期における運動・スポーツ指導現場で起こっている問題の構造を明らかにする。</p> <p><b>【講義】15:00~17:00</b> タレント発掘育成システムの問題点と提言(小俣)</p> <p>2020年東京オリンピック/パラリンピックを約3年後に控え、競技スポーツ界では官民を挙げて強化を図っている。その強化策の重要な柱であるのがタレント発掘育成事業で、現在では多くの競技団体、自治体などが中心となってタレント発掘育成を行っている。日本体育協会も独自のプロジェクトを立ち上げたり、また「タレント発掘育成」とは呼んでいないがプロ野球界も古くから独自のタレント発掘を行っている。このように各競技団体、地方自治体、公益財団法人、さらにプロスポーツ球団、大学や高校、民間クラブチームなどがこぞってタレント性を持つ選手を探している。同じような目的のプロジェクトや事業が乱立気味と言わざるを得ない。本テーマでは第1部の「成長期における運動・スポーツ指導に関する問題」と絡めタレント発掘育成の問題点を明らかにし、他国の最新情報や、さらにいわきスポーツアスレチックアカデミー(いわきFC)での事例も織り交ぜながら提言を示す。</p> <p>【参考文献】 1) 藤井勝紀. 発育発達とScammonの発育曲線. スポーツ健康科学研究35:1-16. 2013. 2) 中村和彦. 観察的評価法による幼児の基本的動作様式の発達. 発育発達研究.1-18. 2011. 3) 綿引勝美ほか. 旧ドイツ民主共和国における適性診断の理論と方法(1). トレーニング科学19. 51-77.2007. 4) Schnatel, G etc.Trainingslehrer-Trainingwissenschaft.Deutschland : Meyer&amp;MeyerVerlag.473-480. 2014.</p>
講師	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>河南 こころ CSCS,管理栄養士, オリックス・バファローズ 管理栄養士</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>小俣 よしのぶ 日本スポーツトレーニン グ研究所</p> </div> </div>
受講料	会員:6,480円 一般:7,776円
定員	30名 (定員に達し次第締め切ります)
キャンセルポリシー	開催1週間前までにご入金がない場合、受付をキャンセルとさせていただきます。開催1週間前を過ぎますと、キャンセルチャージとして受講料の100%を申し受けます。
CEU	0.6(カテゴリーA)